

2023年度冬学期グローバルスタディⅠ「観光」神戸(80)

2024年度 冬プログラム

講義とフィールドワークを通してわが国および海外における「観光ホスピタリティ」に関する様々な取り組みを学ぶと共に課題を考察。
米国、カナダ、マレーシアの大学からの参加学生と共にその課題に対する問題解決策の一環として日本における新しい観光ビジネスモデル提案を行う。

- 3日目 PASONAによる地方創世 淡路
- 4日目 おもてなしの精神 有馬
- 5日目 日本料理・お酒の伝統
- 7日目 地元の人々の地方創世 坂越
- 9日目 新しいビジネスモデル提案 プレゼンテーション

プログラム動画
Let's check it out



Awaji

~2024.3.3~

<PASONAグループによる地方創世>
島内で多くの雇用を創出するとともに、地域資源を生かした様々な施設の開設やイベントの開催を行っている。

●禅坊靖寧

見渡す限り360度に広がる淡路島の大自然の中で、禅の思想を採り入れたZEN Wellnessを体験



●農家レストラン陽・燦燦

食料自給率100%を超える淡路島の食材をたっぷりを使用したサステイナブルレストラン



●ニジゲンノモリ

自然とマンガ・アニメ等の2次元コンテンツをテーマにした日本初の体験型テーマパーク

●Awaji World Ballet

ウクライナをはじめ、世界で活躍するダンサー・講師が集結し、本格的なバレエ公演などを開催



Japanese Cuisine

~2023.3.5~



<松本真実さんによる日本料理講座・体験>

- ・和食の魅力・特徴、それぞれの色や盛り付け方によってあらわされる意味等の講座
- ・日本食づくりを体験

<酒ソムリエ吉川あきさんによる講座・お茶体験>

- ・日本酒とは何なのか、どのようにしてお酒は造られるのか、どんな日本酒の種類があるのか、についての講座
- ・甘酒の試飲
- ・茶道裏千家のお作法で日本のお茶体験



グローバルスタディⅠ/神戸

生島羽琉 中里ひまわり 面谷莉奈

<?? Research Question ??>

海外の人が日本に求めているものは何なのか

インバウンド数の上昇が、顕著になってきている現代I。海外の人々は、どのようなものや出来事に期待して、日本を訪れているのだろうか。また、その需要に比例するために、日本の人々はどのような観光モデルプランをつくっていくべきなのだろうか。

ホスピタリティを学ぶ海外の学生が、日本に何を期待して来日し、そして今回の様々な観光ツアーを通し、何をどう感じたのかを聞きたい

☆淡路島～PASONAによる地方創世～

☆坂越～地元の人々による観光ツアー～

ARIMA Day 3.4

・日本最古の温泉で、兵庫県の奥地にある。金泉（鉄分と塩分を含む）銀泉（炭酸を含む）伝統工芸品も多くあり、人形筆や竹籠、山椒などが盛んでした。有馬の街並みや工芸品は古き良き日本の文化を大事にしています。

・最近では、災害が多いのと、長年減っている観光客と旅館を持続させるために、伝統工芸品の体験、工作プログラムや、e-Sportsとの融合。旅館のおもてなし（Hospitality）に力をいれている



～古き良き日本の街並み～

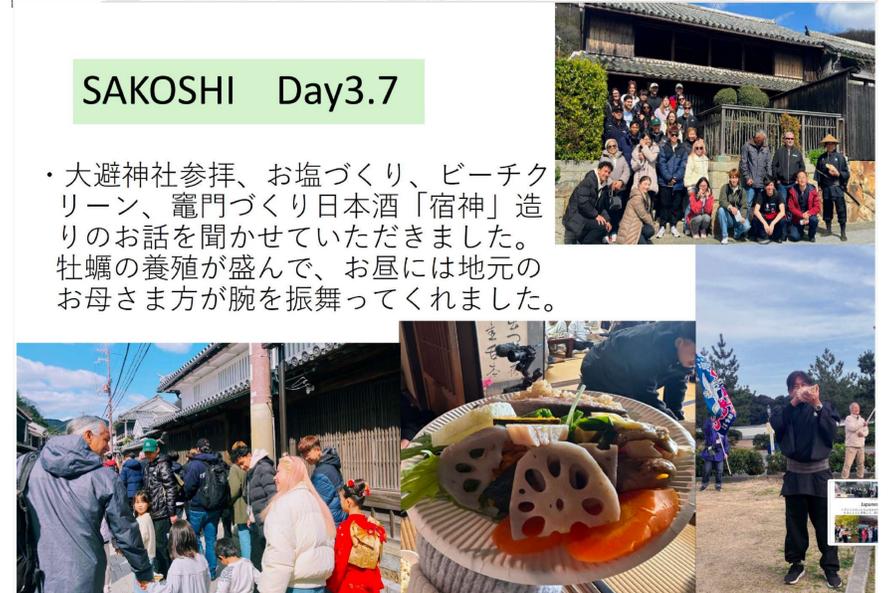
Japanese cityscape

- ・アメリカの人たちは日本の昔ながらの街並みに日本を感じれるととても感動して、歴史の話なども聞いていました



SAKOSHI Day3.7

- ・大避神社参拝、お塩づくり、ピーチクリン、竈門づくり日本酒「宿神」造りのお話を聞かせていただきました。牡蠣の養殖が盛んで、お昼には地元のお母さま方が腕を振舞ってくれました。



2023年度冬学期グローバルスタディI「観光」神戸(80)

Awaji

～PASONAの目指す淡路島～

淡路島の西海岸一体を開発：多くの観光地を増設
例) 淡路シェフガーデン、HELLO KITTY

日本のリゾート地といえば“淡路島”と言われる島をつくりたい

☆プログラムを通じた調査

- PASONAのおもてなしとして、、、
 - (1)キャラクターを使用した施設（ニジゲンノモリ・HERRO KITTY）
 - (2)イタリア風の街並み（淡路シェフガーデン）
 - (3)淡路の自然を学ぶ（農家レストラン・禅坊清寧）

- 調査結果
海外の人が全員、キャラクターが好きとは限らない
→つまらなそうにしている人が多かった。

??海外の人々は、何を期待して日本を訪れているのだろうか??

淡路島の特徴：豊かな自然、食料自給率は100%越え、
多くの観光地 例) 野島断層、うずしおクルーズ

☆豊かな自然を生かした観光地の盛り上げを!!!

1. 様々な種類の食料を淡路島だけで調達することができる
・地元の農家さんの協力を経た**収穫体験プログラム**
[体験プラン | 淡路島観光ガイド - 淡路島の観光や旅行、宿泊施設、温泉、グルメ、イベント情報がいっぱい! \(awajishima-kanko.jp\)](#)
↑これらの体験プログラムを繋ぐ!!!

これらの体験プログラムは、バラバラの場所で統一感がない
→地域の農家さんたちの行う体験プログラムに流れ作る
例) ツアーをPASONAが先導、宿泊施設の増設

新しく観光地をつくり集客するのではなく、**淡路島自体が持つ魅力**をより多くの人に広げていくことが大切なのではないか、、、

2. 淡路島の南側にも多くの観光地が存在する
・WEST COASTのみでなく**淡路島全体を盛り上げ**ていくことが重要

<問題点>
淡路島全体を周遊するには交通機関が不便
例) バスが少ない、道が狭い、

- ・海外の人も訪れやすい街づくりをサポート
<問題点>
英語に適應する環境が整っていない

☆PASONAの役割：南へも足を向かせる!!!

- 交通面でのサポートを行う
- 地元の人々にツーリズムEnglishの学習機会を提供

PASONAさんには、もともと淡路島が持つ魅力を最大限に生かせるような連携やネットワークをつくる手助けをしていただきたい

Sakoshi

～地元の人がもてなす坂越～

多くの地元ボランティアスタッフの方々が、**英語**で地域を案内
坂越の歴史、伝統、特産物等の紹介・体験学習

☆プログラムを通じた調査

- 坂越の人々のおもてなしとして、、、
 - (1)塩作り、土壁作り等の体験学習
 - (2)大避神社の参拝（地元の伝統的な神社）
 - (3)海岸でのビーチクリーン
 - (4)日本酒宿神のプロジェクトの紹介
 - (5)地元の食材を使用した、手作りの家庭料理のふるまい
- 調査結果
海外の学生は、すごく坂越の自然の雰囲気を感じて感激していた。
「今回のツアーで一番日本を感じられた」と話す学生もいた。

??どのようにして坂越をインバウンドツーリズム化していくのか??

<私たちが感じた坂越の弱点>

- (1)ツアー等がない場合のモデルプランはどのようなものになるのか
- (2)交通の便が悪い
- (3)繰り返し訪れたいと感じる魅力が少ない

☆よりインバウンドに特化した観光地の仕組み作りへ!!!

1. 坂越に来たら、体験できる活動を一つの観光モデルとして行う

例) 第二日曜日に、ボランティアスタッフが集まり、
同様のプランで観光ツアーを開催
→このツアーの開催日に合わせて多くの観光客が訪れるように宣伝

淡路のWEST COAST 開発を参照する。
(一定の地域に絞り、その地を観光地となるように仕組みを立てる)

まず、坂越という土地を知ってもらう。日本に観光に来た際に坂越に訪れたいと思わせる。

2. ほかの交通会社（バス・タクシー）や地域との提携を結ぶ

ラッピングバスを、人が多い街に走らせる。
三ノ宮・神戸ー淡路ー坂越 を一日で回る周遊プランを計画
→兵庫県観光局が主体となり、インバウンド向けのバスツアーを計画する等

例) 香川県のうどんタクシー
うどんが有名な香川県では、様々な場所にうどんのお店が存在する。
観光客は選択に迷う。
→うどんタクシーを利用することで、タクシーの運転手さんが一人一人の希望に合わせてうどん屋を紹介し、送り迎えをしてくれる。
[【公式】「うどんタクシー」でさぬきうどんを食べ歩き! \(udon-taxi.com\)](#)

3. イベントやお祭りの開催の宣伝を行い、リピーターの獲得を!!!

- ・坂越の船祭り
- ・相生のペーロン祭りに合わせた人の呼び込み
- ・会場花火を企画
- ・地域独自のイベントの開催を企画するなどなど



まとめ

<プログラムを通して得たもの>

日本のホスピタリティを学ぶ体験を通じて、日本人として得られたものと、海外の人が感じて得られたものは多岐にわたる。
<日本人>
・伝統文化や、日本の古き良き地域の魅力を再確認できた。
・地域コミュニティとのつながりを深め、より一層地域創生を考える機会を得られた。

<外国の人たち>
・日本の豊かな自然や文化、ホスピタリティに触れられた。
・日本の魅力を深く体験することができた。

<今後の生活へ>

私たちがこのプログラムを通じて学んだことを今後に生かすために、

- 1 地域の魅力を再発見する
- 2 持続可能な生活を心がける
- 3 国際交流を促進する
- 4 地域の活性化に貢献する

これらの取り組みを徹底することで、より素晴らしい地域や国際関係の社会を築いていきたい。